

さいたま市立七里小学校
校長 舘 和 成

『子どもの声に耳を傾けて』

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な姿と笑顔が戻ってきました。2学期は、運動会や校外学習などの行事を予定しており、日々の学習と合わせて、子どもたちが成長を実感できる機会を大切にしていきます。

新学期が始まると、目を輝かせて登校する子もいれば、生活リズムが整わず、不安を感じる子もいます。長い休みの後は、大人でもやる気が出なかったり、気持ちの切り替えが難しかったりするものです。子どもたちも同じように、朝起きられない、気持ちが沈むなど、戸惑いを抱えているかもしれません。そんな時こそ、お子さんに声を掛け、話を聞いてみてください。否定せずに耳を傾けることで、安心感が生まれ、少しずつ自分の気持ちを言葉にできるようになります。もし、お子さんの様子に不安を感じたり、接し方に悩んだりすることがありましたら、どうぞ遠慮なく学校へ御相談ください。保護者の皆様と一緒に、お子さんの気持ちに寄り添いながら、一緒に考えていきましょう。

『さいたま市ストップいじめ！子どもサミット』

7月30日(水)、さいたま市立大宮国際中等教育学校で「さいたま市ストップいじめ！子どもサミット」が開催されました。市内の児童生徒代表、教職員、保護者、地域団体、行政機関が集まり、いじめ防止について真剣に考える貴重な機会となりました。七里小学校からは児童会長、保護者、校長、生徒指導担当教員が参加しました。七里中、東宮下小、七里小の3校によるグループ活動では、児童会長が七里小のいじめ防止の取組を堂々と発表しました。その後、先生方や保護者の方々が、それぞれの立場から意見を交わし、いじめをなくすために何ができるかを話し合いました。最後には、3校の代表の子どもたちが協力して「みんなで考えよう 友達の気持ち」という言葉にまとめ上げました。子どもたちの真剣な姿勢と協力する力に、参加者全員が感動しました。全体会では、見沼区の参加者全員で集まり、中学校区ごとにグループでつくった言葉を発表し、グループ活動の内容を共有しました。七里小の児童会長は、グループ活動でも全体会でも、準備や練習の成果を発揮し、落ち着いて発表することができました。その姿は非常に立派で、校長としてとても誇らしく感じました。このサミットを通じて、子どもたちが自ら考え、行動する力をもっていることを改めて実感しました。いじめ防止の取組は、子どもたち自身が中心となって進めていくことがとても大切です。私たち大人は、その姿を認め、支えていく責任があると強く感じました。

保護者の皆様におかれましては、これまで同様、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

2学期も保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。